

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 6 区分
【発行日】平成29年10月26日 (2017.10.26)

【公表番号】特表2016-533309(P2016-533309A)
【公表日】平成28年10月27日 (2016.10.27)
【年通号数】公開・登録公報2016-061
【出願番号】特願2016-543965(P2016-543965)
【国際特許分類】

B 6 5 D 83/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月12日 (2017.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加圧分配装置であって、
容器開口部が形成された首部を有する剛性容器と、
容器内に配設され、剛性容器の首部内または首部に沿って配設された孔形成ライナー取り付け部を備える萎み可能ライナーと、
ライナー内に配設された下方へ延びる浸漬管と、
剛性容器の首部に係合し、内部を通る流体流路が形成されたプローブを含むコネクタとを備えており、
浸漬管の上部でプローブの下部を受けることができるようになっており、プローブの下部でその浸漬管の上部を取り付け部の内面に押し当てることで、浸漬管がプローブの下部と取り付け部とに直接接触してプローブと取り付け部との間に浸漬管を密閉状態で係合させられるようになっていることを特徴とする加圧分配装置。

【請求項 2】

ライナー式加圧分配装置用のコネクタであって、
剛性容器の首部外側のねじ山部と共働するように内側にねじ山をもつ側壁を含み、この内側にねじ山をもつ側壁の付近に下部凹所が形成されている本体構造と、
内部に流体流路が形成され、下部が浸漬管の上部と機能的に結合できるように下部凹所内に突き出し、下部に中心軸に対して傾斜した先細り面が形成されているプローブと、
コネクタの外面と下部凹所との間の流体連通を可能にするように配設された少なくとも 1 つの気体流路が形成された構造とを備えており、
コネクタがライナー式加圧分配装置に嵌め合わされるとき、プローブの下部が浸漬管の上部と直接接触し、浸漬管の上部を取り付け部の内面に押し当ててプローブと取り付け部との間に浸漬管を密閉状態で係合させられるようになっていることを特徴とするライナー式加圧分配装置用のコネクタ。

【請求項 3】

液体含有材料を分配する方法であって、
加圧分配装置を提供する工程を含み、
その加圧分配装置は (a) 容器開口部を形成する首部を含む剛性容器と、(b) 容器内に配設され、剛性容器の首部内または首部に沿って配設された孔形成ライナー取り付け部

を備える萎み可能ライナーと、(c)ライナー内に配設された下方へ延びる浸漬管と、(d)内部に流体流路を形成するプローブを含むコネクタと、(e)有形媒体に記した1組の指示とを有しており、

その指示が、プローブ下部に浸漬管上部を浸漬管の内面に押し当てて設置させ、浸漬管をプローブと取り付け部との間に密閉係合させるべく、コネクタを剛性容器の首部にねじ込む手順と、萎み可能ライナーを圧縮するためにコネクタを介し、加圧気体を萎み可能ライナーおよび剛性容器と流体連通する加圧空間へ供給する手順とを含む指示であることを特徴とする方法。

【請求項4】

加圧分配装置を利用する方法であって、

その加圧分配装置が(a)容器開口部を形成する首部を備えた剛性容器と、(b)容器内に配設され、剛性容器の首部内またはこれに沿って配設された孔形成ライナー取り付け部を有する萎み可能ライナーと、(c)ライナー内に配設されている下方へ延びる浸漬管と、(d)内部を通る流体流路が形成されているプローブを備えたコネクタとを有しており、

コネクタを剛性容器の首部にねじ込んでプローブ下端部を浸漬管上部と直接係合させる工程と、

萎み可能ライナーを圧縮するために、コネクタを通して萎み可能ライナーと剛性容器との間の加圧空間へ加圧気体を供給する工程を含むことを特徴とする方法。

【請求項5】

加圧分配装置であって、

頂面に沿った口部と、第1幅を有する上部と、第1幅よりも小さい第2幅を有する下部とを有する容器と、

容器の下部内に配設され、液体抽出口を含む下方へ延びる浸漬管とを備えており、

(a)浸漬管から容器内への液体の流れを阻止するために、液体抽出口の付近に逆流防止装置が配設されているという特徴と、(b)容器の下部内における液体の欠乏または低液位を示す状態を感知するセンサーが容器の下部内またはその付近に設けられているという特徴のうち少なくとも一方を有することを特徴とする加圧分配装置。

【請求項6】

加圧分配装置であって、

頂面に口部を有する容器と、

容器の下部に配設された液体抽出口を含む下方へ延びる浸漬管と、

容器内に配設された液体と接触させるため、加圧気体を容器の内部へ連通するように配設された気体入口ポートと、

浸漬管から容器内への液体の流れを阻止するために、液体抽出口の付近に配設された逆流防止装置とを備えることを特徴とする加圧分配装置。

【請求項7】

ライナー式分配システムからヘッドスペース気体を除去する方法であって、

オーバーパックとそのオーバーパック内に配置されるライナーを提供する工程と、

オーバーパックと結合し、オーバーパック内に配置されたライナーの内部と流体連通するための第1ポートおよび第2ポートが形成され、オーバーパックの内部およびライナーの外部と流体連通するための第3ポートが形成されたキャップを提供する工程と、

有形媒体に記した1組の操作指示を提供する工程とを含んでおり、

その操作指示が、

所定の第1圧力にある加圧された不活性気体を第2ポートに付与する手順と、

加圧された不活性気体を所定の第1圧力にて第2ポートに付与しながら、第1ポートを介してライナーに液体を充填し、液体が第1圧力よりも高い第2圧力で第1ポートに付与されるようにする手順とを含む操作指示であることを特徴とする方法。

【請求項8】

加圧分配容器から分配される流体の流れを分配する方法であって、

加圧気体を剛性容器の内部に配設された液状化学品と直接接触するように内部に供給することにより、容器上部に比べて幅狭の容器下部内に配置された浸漬管の抽出開口部内に液状化学品を流れ込ませる工程と、

(a) 浸漬管に設けられた逆流防止装置を利用して浸漬管内における液状化学品の逆流を阻止するステップと、(b) 容器の下部内における液状化学品の欠乏または低液位を示す状態を感知するステップのうち少なくとも 1 つを実行する工程を有することを特徴とする方法。